

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			解剖学Ⅰ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			博士	使用教室	第1柔整普通教室
教員名			小川 貴志子	講義形式	講義
学習目標と講義概要			医療の基礎となる人体解剖学概説、意義と分類、細胞組織、発生、器官系統、人体の区分、全身にゆき渡る脈管系(循環器系)についての知識を身につけることを目的とする。脈管系の構造と役割、身体各部の動脈・静脈・リンパ管の構成と走行、胎児循環の特徴と役割について理解できる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	意義と分類 ・ 細胞および組織		
2	1	2	細胞および組織		
3	1	2	細胞および組織 ・ 発 生		
4	1	2	器官系統 ・ 人体の区分		
5	1	2	脈管系 A. 総論		
6	1	2	脈管系 B. 心臓 1		
7	1	2	脈管系 B. 心臓 2		
8	1	2	脈管系 B. 心臓 3		
9	1	2	脈管系 C. 心脈管系 動脈 1		
10	1	2	脈管系 C. 心脈管系 動脈 2		
11	1	2	脈管系 C. 心脈管系 静脈		
12	1	2	脈管系 C. 心脈管系 胎児循環		
13	1	2	脈管系 D. リンパ系		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学 ： 医歯薬出版					
教員について					
他大学教育機関等での研究教育活動及び医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			解剖学 II	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			博士	使用教室	第1系整普通教室
教員名			小川 貴志子	講義形式	講義
学習目標と講義概要			内臓系(消化器系、呼吸器系)について学び、各内臓系の種類、位置関係、構造、機能について理解出来る。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	内臓系 A. 消化器 1		
2	1	2	内臓系 A. 消化器 2		
3	1	2	内臓系 A. 消化器 3		
4	1	2	内臓系 A. 消化器 4		
5	1	2	内臓系 A. 消化器 5		
6	1	2	内臓系 A. 消化器 6		
7	1	2	内臓系 B. 呼吸器 1		
8	1	2	内臓系 B. 呼吸器 2		
9	1	2	内臓系 B. 呼吸器 3		
10	1	2	内臓系 B. 呼吸器 4		
11	1	2	内臓系 B. 呼吸器 5		
12	1	2	内臓系 B. 呼吸器 6		
13	1	2	内臓系 B. 呼吸器 7		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学：医歯薬出版					
教員について					
他大学教育機関等での研究教育活動及び医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			解剖学Ⅲ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			歯科医師	使用教室	第1系整普通教室
教員名			関 伸一郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			内臓系(泌尿器系、生殖器系、内分泌系)について知識を身につけることを目的とする。各内臓系の種類、位置関係、構造、機能について理解できる。		
回数	コマ数	時間数			
1	1	2	内臓系 C. 泌尿器 1		
2	1	2	内臓系 C. 泌尿器 2		
3	1		内臓系 C. 泌尿器 3		
4	1	2	内臓系 C. 泌尿器 4		
5	1	2	内臓系 D. 生殖器 1		
6	1	2	内臓系 D. 生殖器 2		
7	1	2	内臓系 D. 生殖器 3		
8	1	2	内臓系 D. 生殖器 4		
9	1	2	内臓系 D. 生殖器 5		
10	1	2	内分泌系 1		
11	1	2	内分泌系 2		
12	1	2	内分泌系 3		
13	1	2	内分泌系 4		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			生理学 I	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			歯科医師	使用教室	第1柔整普通教室
教員名			関 伸一郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			生理学の基礎を学び、循環・呼吸・消化と吸収についての知識を身につけることを目的とする。人体を構成する各要素の働き、細胞内小器官の機能、生体内の物質移動の原理を説明できる。循環の生理的意義を学び、大循環、小循環の構成、血圧発生の仕組みについて説明できる。呼吸の換気の仕組み、ガス交換の仕組み、呼吸調節の仕組みについて説明できる。消化と吸収の仕組み、消化管ホルモンの仕組み、肝臓の機能について説明できる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第1章 生理学とは 1		
2	1	2	第1章 生理学とは 2		
3	1	2	第8章 血液 1		
4	1	2	第8章 血液 2		
5	1	2	第10章 循環 A心臓		
6	1	2	第10章 循環 B血管		
7	1	2	第10章 循環 C,Dリンパと循環調整		
8	1	2	第11章 呼吸の生理 1		
9	1	2	第11章 呼吸の生理 2		
10	1	2	第14章 消化と呼吸 1		
11	1	2	第14章 消化と呼吸 2		
12	1	2	第13章 栄養と代謝 1		
13	1	2	第13章 栄養と代謝 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学 :南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			生理学 II	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			歯科医師	使用教室	第1柔整普通教室
教員名			関 伸一郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			体温、尿の生成と排泄、内分泌系の機能、体液と生命活動の営みを行う生理学の機能についての知識を身につけることを目的とする。代謝の生理的意味と中間代謝、エネルギー代謝について説明できる。体温発生の仕組み、体温調節の仕組みについて説明できる。排尿の仕組み、再吸収の仕組みについて説明できる。各内分泌の機能、特徴、分泌調整、作用について説明できる。骨のカルシウム代謝、ホルモン作用について説明できる。体液のイオン組成、恒常性の維持の仕組みについて説明できる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第15章 体温とその調節 1		
2	1	2	第15章 体温とその調節 2		
3	1	2	第15章 尿の生成と排泄 1		
4	1	2	第15章 尿の生成と排泄 2		
5	1	2	第6章 内分泌 1		
6	1	2	第6章 内分泌 2		
7	1	2	第6章 内分泌 3		
8	1	2	第6章 内分泌 4		
9	1	2	第7章 生殖 1		
10	1	2	第7章 生殖 2		
11	1	2	第9章 骨の生理		
12	1	2	第3章 神経の生理 1		
13	1	2	第3章 神経の生理 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学 :南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			保健医療福祉	履修単位/時間	1単位/15時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	第1柔整普通教室
教員名			木野田 浩平	講義形式	講義
学習目標と講義概要			良質な医療を提供する体制を確立できるような知識を身に付けることを目的とする。 患者に対し、安心・安全な環境を提供できるよう、医療に関する適切な情報の提供、医療安全の確保についての理解と説明ができる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	我が国の医療保険の概要		
2	1	2	保険診療の流れ		
3	1	2	医療費の患者負担について		
4	1	2	医療保険制度の体系		
5	1	2	公的医療保険の給付内容		
6	1	2	高齢者医療制度		
7	1	2	単位認定試験		
8	0.5	1	解答・解説		
合計					
8	7.5	15			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理:医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。					

2024年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			柔道Ⅰ	履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	柔道場
教員名			木野田 浩平 、 天和 航平	講義形式	実技
学習目標と講義概要			精力善用、自他共栄の心を持った柔道整復師を育成するべく、心、技、体を鍛えることを目的とする。 柔道の基本的動作である、礼法、受け身、投げ技、寝技の基本動作、打ち込みを行う。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	授業の概要と進め方、道場での立ち居振舞、柔道着の着方・たたみ方、 準備体操、基礎トレーニング、礼法、受け身(後ろ受身、横受身) 1		
2	1	2	授業の概要と進め方、道場での立ち居振舞、柔道着の着方・たたみ方、 準備体操、基礎トレーニング、礼法、受け身(後ろ受身、横受身) 2		
3	1	2	準備体操、基礎トレーニング、礼法、受け身(前受身、前回り受身)		
4	1	2	準備体操、基礎トレーニング、礼法、受け身(全種) 1		
5	1	2	準備体操、基礎トレーニング、礼法、受け身(全種) 2		
6	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、背負投 1		
7	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、背負投 2		
8	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、大腰 1		
9	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、大腰 2		
10	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、小外刈 1		
11	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、小外刈 2		
12	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
13	1	2	準備体操、基礎トレーニング、受け身、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
見学者はレポートを提出すること					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席) 3)口頭試験は60点評価とする。					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
資料配布					
教員について【実務経験有】					
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。 (天和先生)柔道参段、整形外科での実務経験が約7年。現場で診させていただいて得た知識・技術を基にして、基礎はもちろんのこと、臨床経験も交えながら、授業を展開します。					